

バルーン下逆行性経静脈的塞栓術(B-RTO)を受けられる(

)さんへ 入院中のスケジュールです。

説明日(/) 説明者氏名()

STP0200170(部分)

月/日	/	/	/	/	/	/	/	/ ~
病日	治療前日	治療当日(前)	治療当日(後)	回収当日(前)	回収当日(後)	治療後1日目	治療後2日目	治療後3日目以降
達成目標	◇治療の目的を理解できる	◇治療を安全安楽に受けられることができる	◇血圧・脈拍・呼吸が安定している ◇下肢静脈血栓が起きない			◇発熱はあるがコントロールできる ◇治療後出血や肝不全の症状が出現しない		
検査	採血、胸・腹部レントゲン、心電図の検査があります ※患者さんによっては、ない場合もあります 	治療室(血管造影室)にはストレッチャーで行きます 治療の順番までお部屋でお待ち下さい。 ※急患の対応等により、順番が前後することがあります	治療室から足の静脈に管が入ったまま病棟に帰ってきます 医師が動脈から血液ガスの検査を行います 	朝、採血を実施します 	治療室で足の静脈に入っていた管は抜いて帰ってきます。その後は出血しないようにガー	朝、採血を実施します 胸・腹部のレントゲンを撮ります 		
処置	鼠径部の剃毛を行います	点滴の針を左手に挿入します 術衣と専用パンツに着替えます 弾性ストッキングをはきます 治療室へはストレッチャーで行きます	検査後は定期的に、体温や脈、血圧測定を行います 穿刺部の観察を行います		医師が穿刺部のガーゼの付け替えに伺います ガーゼの押さえは外します	穿刺部の観察を行います。 ガーゼは除去します		
注射		治療前に抗生剤の点滴があります 500mlの点滴が3本あります 	抗生剤の点滴が、治療終了後にあります	500mlの点滴が3本あります 朝・夕で抗生剤の点滴があります 		朝・夕で抗生剤の点滴があります		
内服薬	飲んでいるお薬の確認をします 	指示された内服薬は朝6時に服用してください。 胃薬(ラベプラゾール)の内服もあります。 (内服自己管理の方:内服しないお薬は看護師が全てお預かり致します)			治療から帰ってきた時に胃薬を内服します	いつも通り内服して下さい 		
栄養	通常通り食事ができます	朝6時にカロリーメイトゼリーを渡しますので飲んで下さい。 食事は朝から絶食です。			夕食より全粥が食べれます 	全粥です 	いつも通り食事ができます	
清潔	入浴できます 		入浴・シャワー浴はできません			体拭きを行います 		シャワーに入れます 
排泄		検査前におしっここの管をいれていきます 便が出ていない方は浣腸します			安静解除時におしっここの管を抜きます 			
活動・安静	安静制限はありません 	なるべく安静にして下さい トイレ等は歩いても構いません	ベット上安静です。管が入っていない方の足は、軽く曲げてもいいですが、横向きになることはできません		医師の許可を受けるまでは、足を動かしたり曲げたりせず、ベット上で安静にしてください。 ※安静解除後、トイレ・洗面所まで歩行可能です。 	安静制限はありません 		
安全	転倒転落の危険度の評価を行います。スリッパではなく運動靴の使用をお願いします。ナースコールとベッド柵を設置します。					発熱・疼痛などの症状の際は、転倒しやすいので気をつけましょ		
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	医師より治療の説明があります 看護師が病棟設備や検査について説明します 薬剤師が飲んでいるお薬の確認をします ベッド上での安静が長くなりますので、水分摂取をするための薬のみか、ストローつきのコップを用意してください。	治療に行く前に、貴金属(時計、指輪、ネックレス、めがね、コンタクト)などを外して下さい。 また化粧やマニキュアも落として下さい。	★検査後、穿刺部の痛みや腫れ、息苦しさがある場合はすぐにお知らせ下さい 治療後は観察室に入り、経過観察します			主治医から説明があります 		自分の部屋に戻れます

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。